

令和6年度 第1回壱岐市入札監視委員会 会議録（要約版）

日 時：令和6年10月24日（木） 午後1時25分から午後2時30分

場 所：壱岐市役所 勝本庁舎 第3階会議室

出席者：委 員 藤井信孝、殿川 穂、原田憲一郎
 壱岐市 副市長 中上良二、総務部長 平田英貴
 事務局 財政課長 原 裕治、課長補佐兼契約班係長 坂本謙太郎
 契約班主事 豊永恭平
 説明員 建設課 建設課長、建設課課長補佐
 農林課 農林課長、農林整備班係長
 水産課 水産課長、水産課長補佐

欠席者：委 員 大久保敏範

1. 開会（午後1時25分）

進行：事務局

2. 副市長挨拶

※議事に入る前に、事務局より本年度の入札契約制度改正について説明。

3. 議事

進行：藤井委員長

（1）抽出案件の審査について（令和6年1月から令和6年8月入札執行の工事等）

※説明担当課の業務の都合上、順番を前後して審査を行った。

抽出事案：7 電気工事	
抽出理由： ○この工事は、昨年12/21入札で不落となった工事ではないのか。（予定価格、最低制限価格からも同じ工事と思われる。） ○前回の委員会の際（3/11（月）開催）の説明では、業者は居ながら施工で積算し、市は居ない状況で積算していたので差が生じた。このため、階段等の共用部分を居ながら施工に改めて、再度設計・積算を行った上で再入札を実施し落札したとの説明があったと思う。その後、どの様な対応をされたのか。（入札は？）	
回 答	設計書は公共建築工事積算基準に基づき積算を行って入札を行ったが、2回不落となった。3回目の入札においては、入札参加業者のヒアリングを行い、階段等の共用部電気設備の内容を精査し設計した。今年3/8に建設課において第3回目の入札を行い、受注業者が決定している。
質問・意見等	質問・意見等に対する回答
3/11（前回開催日）には入札は終わっていたということか？	そのとおりです。

抽出事案：8 用地測量業務	
抽出理由：不落となり入札後3ヶ月以上経過しているが、その後、どのような対応をされたのか。（入札は？）	
回 答	6/27契約班において最初の入札が行われたが不落となり、その後建設課において、7/18再度入札（見積執行）を実施し、落札者と7/22付けで契約を締結、8/19に業務は完了している。
質問・意見等	質問・意見等に対する回答
1度不落等になると担当課で入札を行うのか？	この案件については、業務を早期に完了する必要があったため、担当課にて見積執行を行った。

抽出事案：6 郷ノ浦港ターミナル整備及び芦辺港ターミナル整備について	
抽出理由： 両港ターミナルの整備工事を工区分けして発注されているが、工事は何年計画で何工区まで予定されているのか。 また、参考のため工事の概要を伺いたい。	
回 答	両港ターミナル整備工事の計画概要について説明し、質問に回答した。

抽出事案：1, 2, 3, 4（1と3, 2と4は同一工事） いずれも災害復旧工事	
抽出理由： ①不落が2度続き3度目で落札になった理由。 ②災害復旧工事の特異性があるのか。 ③再度入札しているが、再び予定価格超過になっている。予定価格の設定に問題はないのか。	
回 答	①今回の不落については、積算システムの障害エラー及び積算者の人為的エラーにより、適正な設計単価が設定されていなかったことが要因である。 ②本件は①のとおりであるが、これまでの経験上農地災害は、搬入路や施工ヤードが狭隘のため施工性が悪い現場については不落となる場合もある。また、現年の施工は災害の手続き上、年度末での工期設定となることもあるため、他部署他事業の工期の終盤で人員が避けられない等の理由も考えらる。 ③生コンクリートを使用する工種において、搬入路が3m未満の場合においては、生コンクリートの基本単価に小型割り増し単価を上乗せして計上する必要がある。（基本単価＋小型割増単価） その単価の置き換えを人為的な積算システムの操作エラーにより、生コンクリートの単価を計上できておらず、適正な設計単価となっていなかった。
質問・意見等	質問・意見等に対する回答
○積算者の人為的エラーはよくあるのか？	件数はあまりない。今回の要因は、積算ミスと検算ミスが重なった。
○積算システムの障害エラーとは？	設定している単価が過小な単価となっていた。

抽出事案：5（工事件数は4件） いずれも災害復旧工事	
抽出理由： 農地等災害復旧工事について	
①不落により再入札の際は、設計内容は同じで、設計単価のみをその時点の単価に更生しているのか。	
②資材や労務の単価は、年度内に何回の変更があるのか。また、どのくらい上昇しているのか。	
③1つの災害復旧工事は、3/21入札後7/19日までの長期間、入札を執行しなかった理由はなにか。他の工事は、随時、執行されている。	
回 答	<p>①1回目の不落は、積算システムの障害エラーにより、設計単価が適正でなかったことが判明したため、改めて適正な単価更生を行い入札をかけた。</p> <p>②労務単価は年1回。資材価格は物価調査会により適宜見直しがなされている。労務単価は12年連続の引き上げがとなっており、全国・全職種の単純平均は対前年度に対し5.9%上昇している。</p> <p>③事業の負担金が高額であり、負担金協議及び調整に時間を要したが、R6.6.28に納付があったので入札を執行した。</p>
質問・意見等	質問・意見等に対する回答
○不落の場合の対応について、単価更正は行っているのか？	単価更正を行っている。そのほか、事業者等にも意見聴取を行っている。
○入札は負担金の納付があってから行っているのか？	設計額から算定した負担金を預かり金という形で先に納付いただき、工事完了後に精算又は追納していただいている。
○追納の場合は、事前に申請者に相談しているのか？	相談の上、増額変更を行っている。

※その他事務的及び制度的な事項の抽出案件に対し、財政課より説明を行った。

◎委員会意見

本日審議した事案については、特に問題なく適切に処理されている。

(2) その他

次回会議日程について

令和7年2月から3月頃を目途に日程調整を行う。

4. 閉会（午後2時30分）